

施策評価（令和8年度）

戦略3 観光・交流戦略			
目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	文化振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和8年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

秋田の文化芸術に対する若者等の関心が高まり、次の世代の担い手が確保されることにより、地域の伝統芸能等が維持・継承された魅力的でにぎわいのある地域の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①～③】 文化事業への来場者数(人)	目標			135,000	270,000	360,000	455,000	95.5%	3	
		実績	450,445	54,435	277,888	523,376	403,173	434,317			
	出典: 県調べ	達成率			205.8%	193.8%	112.0%	95.5%			
②	【施策の方向性①～③】 あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行数(件)	目標			42	42	42	42	421.4%	4	
		実績	—	—	98	198	165	177			
	出典: 県調べ	達成率			233.3%	471.4%	392.9%	421.4%			

※ 指標の判定基準

4点: 達成率 $\geq 100\%$ 3点: $100\% > \text{達成率} \geq 90\%$ 2点: $90\% > \text{達成率} \geq 80\%$

1点: $80\% > \text{達成率} \geq 70\%$ 0点: $70\% > \text{達成率}$ n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
3.50 (b相当)	4点 × 1個 = 4点 1点 × 0個 = 0点
	3点 × 1個 = 3点 0点 × 0個 = 0点
	2点 × 0個 = 0点
	合計 7点 ÷ 2個(判明済み指標) = 3.50

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

a相当: 平均点が3.6点以上 b相当: 平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当: 平均点が2.8点以上3.2点未満

d相当: 平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当: 平均点が2.4点未満

2-3 主な取組状況とその成果

【施策の方向性① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり】

- ・あきた芸術劇場ミルハスにおいて、県主催事業として多様なジャンルの公演等を開催したほか、集客力のあるアーティストやコンベンション等を誘致し、文化芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、地域のにぎわい創出につなげた（大規模イベント・興行数177件）。
- ・県出身の音楽家が中高生、大学生等（97人）を指導し、本県文化芸術の底上げを図りながら、プロ・アマ一体となった吹奏楽コンサート（来場者917人）を開催すること等により、にぎわいの創出と施設の一層の認知度向上を図った。
- ・あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」において、県主催事業やあきた文化交流発信センターのイベント情報等を随時発信した。「ブンカDEゲンキ」のページビュー数は119,010回、YouTubeチャンネル再生回数は84,946回であった。

【施策の方向性② 文化芸術活動の促進と次代を担う人材の確保・育成】

- ・「芸術選奨」（1人）、「ふるさと文化賞」（2団体）を贈り、優れた活動を顕彰した。また、「青少年音楽コンクール」（参加者延べ132人）を開催したほか、文芸活動の普及、振興を目的として広く県民から文芸作品を公募し、受賞作品を掲載した作品集「あきたの文芸」を刊行した（応募作品217点）。
- ・県央地域において中高生及び一般県民（参加者742人）を対象に行った音楽活性化アウトリーチでは、プロの演奏家による技術指導やその様子を一般公開したほか、成果発表としてミニコンサートを行った。また、美術活性化アウトリーチでは、県北、県央の各地域において中高生及び一般県民（参加者166人）を対象に、美術作品の鑑賞、解説、ワークショップ等により、美術への関心を高め、理解を促した。
- ・一流の国際的な音楽家によるクラシックコンサートの開催に合わせて、地域の小学生が合唱による共演（59人）を行い、幅広い年代の県民に質の高い文化芸術に触れる機会を創出した。

【施策の方向性③ 文化芸術を通じた交流人口・関係人口の拡大】

- ・国内外から優れた音楽家を招いた「秋田・潟上国際音楽祭」（来場者1,418人）を開催し、県内外からの多くの来場者に本県文化の魅力を発信した。
- ・県内の文化団体が行う集客力が高く交流人口拡大に資する取組に対して助成を行った（8件）。
- ・県内を代表する劇団わらび座と連携し、県外公演時に秋田への関心を高めるため、伝統芸能の披露や資料展示、秋田の文化の魅力を紹介するパンフレットの配布等を行ったほか、今後上演する観客参加型・小規模コンテンツを造成した。

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
b	成果指標の達成率を基にした定量的評価は3.50で「b相当」であることから、総合評価は「b」とする。
	【定性的評価として考慮した点】 ・

4 県民意識調査の結果

質問文		国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。				
調査年度		2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見	16.6%	16.5%	16.0%		
	十分 (5点)	1.8%	2.1%	2.5%		
	おおむね十分 (4点)	14.8%	14.4%	13.5%		
	ふつう (3点)	41.9%	32.1%	37.0%		
	否定的意見	32.0%	42.8%	37.0%		
	やや不十分 (2点)	20.2%	27.2%	24.8%		
	不十分 (1点)	11.8%	15.6%	12.2%		
	わからない・無回答	9.5%	8.5%	9.9%		
平均点		2.72	2.56	2.66		

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

※2026(R8)年度は2025(R7)年度以前と質問内容が異なるため、結果は記載していない。

参考:2026(R8)年度県民意識調査の結果

質問文		県民が文化芸術に親しむことのできる環境が整備されている				
調査年度		2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	5点				3.1%	
	4点				16.7%	
	3点				39.2%	
	2点				22.6%	
	1点				9.6%	
	わからない・無回答				8.7%	
平均点					2.79	

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

※2026(R8)年度は2025(R7)年度以前と質問内容が異なるため、2025(R7)年度以前の結果は記載していない。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	- ミルハスの利用者数及び稼働率を引き続き高水準に維持し、施設の魅力を生かすことができる事業者の選定が課題である。 - 本県ならではの文化芸術の魅力発信が不足している。	- 令和8年度に予定する指定管理の更新に当たっては、円滑な管理運営を図るとともに、ニーズを捉えた積極的な営業活動により、質の高い、集客力のある公演等を開催・誘致できるよう、運営事業者を選定する。 - 公式SNS、YouTubeチャンネルを活用した本県ならではの魅力ある文化を題材とした情報発信を行うとともに、文化芸術団体等が行う情報発信の強化に向けた取組を支援する。
②	- 文化芸術活動を行っている人の割合は増加傾向であるものの、広がりや緩やかである。 - 人口減少や高齢化が進行する中、文化芸術活動を維持・活発化させる上で、文化芸術を担っていく人材の不足が懸念される。また、子どもたちが質の高い文化芸術に直接触れる機会が十分に確保されていない。	- 令和8年度からの4年間を推進期間とする秋田県総合計画では、文化団体が行う活動への助成、優れた作品や活動に対する顕彰などにより、幅広い世代が自身の希望に応じた文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを更に進めていく。 - アートやデザイン分野における若手アーティストの活動支援や映像制作等に係る担い手の育成を支援するほか、音楽や美術の分野での中高生等を対象としたアウトリーチ事業により質の高い文化芸術に触れる機会を創出する。
③	交流人口や関係人口の拡大が求められている中で、文化団体等の基盤が弱く集客力のある取組を継続することが難しいほか、観光ニーズ等に対応した取組が不十分である。	地域の文化資源を活用して県内外からの誘客を図る民間団体の取組に対し、助成を行うとともに、劇団が行う劇場公演を活用し、本県文化の魅力を発信する。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「b」をもって妥当とする。
